

**製品名: NCYM ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14462**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	11kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MYCNOS CYMN NCYM
別名	
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P40205
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。AA 範囲: 40-120

**背景**

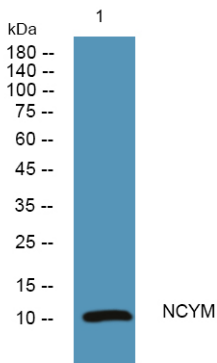
この遺伝子は、鳥類骨髄細胞腫ウイルス性癌遺伝子である v-myc 神経芽腫由来ホモログ遺伝子 (MYCN) に対してアンチセンス転写される。MYCN を安定化させ、アポトーシスを阻害し、細胞増殖を促進する小さな新規タンパク質をコードすると考えられてい

る。この遺伝子座の転写産物は、機能性 RNA として直接作用し、MYCN のプロモーターに転写調節因子をリクルートし、この癌遺伝子の転写を刺激する可能性がある。したがって、この遺伝子は RNA 産物とタンパク質産物の両方を介して機能する。[RefSeq 提供、2016 年 8 月]。発生段階：胎児発生期および増幅された N-myc 遺伝子座を含む腫瘍細胞株において発現し、非常に高いレベルで発現する。機能：正常な胎児発生期において機能的役割を果たす可能性がある。組織特異性：胎児の脳、肺、肝臓、腎臓において、様々な低レベルで発現する。、

## 研究分野

-

## 画像データ



SW480 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、NCYM ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩